

ゆるる

杜の伝言板

2012
9月号

Vol.184
毎月1日発行

特集
復興への
道



くもりのち晴れ
「夏まつりだぜイ」



地球フェスタ
「お似合いですよ!」

「復興への道」
～被災したNPOの軌跡、そして未来へ～

●NPO法人杜の伝言板ゆるる

子育てしやすい街づくりを目指し、
現役ママたちが奮闘

●NPO法人ベビースマイル石巻

仮設住宅に暮らす被災者を個別にサポート

●NPO法人アクアゆめクラブ

自分の命は自分で守る

●NPO法人NPO法人防災士会みやぎ

●トピックス● NPOで高校生の夏ボラ体験2012 夏ボラ体験も10回目

●みやぎNPOプラザ● みやぎNPOプラザ 事務ブースに新しく入る3団体が決定しました!



「復興への道」

～被災した NPO の軌跡、そして未来～

NPO法人杜の伝言板ゆるる

あの東日本大震災から一年四か月、杜の伝言板ゆるる(以下、ゆるる)は、震災で大きな被害を受けたNPOに寄り添い、ともに復興への道を歩んできました。ゆるるが法人設立一〇周年を迎えるにあたり、被災したNPOへの募金サイト「復興みやぎ」で支援してきた九団体と共に、この一年、復興に向かって活動してきた道のりを語り合うことで、NPOの存在意義を示したい、と記念事業『復興への道』を主催したNPOの軌跡、そして未来へ』を開催しました。

復興への道

震災直後、ゆるるでは、三三〇団体を超えるNPOの安否確認を実施。四月には高齢者や障害者支援事業者であるNPO法人百十一団体に緊急被災状況調査を実施しました。その結果、三二団体に建物被害があり、中でも一四団体では施設が津波で流出、あるいは全壊など、大きな被害が発生していました。特に、当時はNPOの介護保険事業者に対しての国からの補助はなく、障害者支援事業者のNPOも補助対象に該当するところが明確ではなく、被災した施設にかかった費用の返済や再建への見通しが立ちませんでした。そこで、事業再開ができないNPO九団体への寄付を募るサイト「復興みやぎ」を立ち上げ、個人からの寄付や助成団体からの寄付をつなぎ、情報発信支援をしながら寄り添い、再開を支

援してきました。

この一年度繋いだ助成金や寄付金は、全部で四〇〇万円を超える金額になりました。復興みやぎを開設して一年が過ぎた七月、折しもゆるるの一〇回目の総会が開催されるにあたり、法人設立一〇周年の記念事業として支援したNPOと共に、この一年を振り返る報告の場を設けました。

最高気温三十三・八度という真夏日の七月二十八日、会場となったみやぎ婦人会館には、八十人を超える方々のご参加があり、「復興への道」各団体の報告に耳を傾けました。

この紙面では書きつくせませんが、報告の概要をご紹介します

それぞれの復興への道

気仙沼市本吉町にある知的障がい者のケアホームを運営するNPO法人泉里会。新しいグループホームの事業所審査を一週間後に控え、その施設は津波で跡形もなくなっていました。八月には民間助成を得て、高台で被害がなかった従来のグループホームの敷地にプレハブを立て、障がい児の日中一時支援を、二月には障がい者の移動支援を始めました。そして、今年の秋には幹線道路のそば、人が行き交う住宅地になるところの入口に新しく障がい者のケアホーム施設を建てることに決まったと報告がありました。まさにバリアフリーなまちづくりの一步として期待が広がっています。

宮城県登米市の南方町と迫町新田二

か所で高齢者と障害児の児童のデイサービスを行っていたNPO法人どんぐりの家。登米市から廃園になった幼稚園を借りてデイサービスを行っていた施設は、天井が落ち、浄化槽も損傷を受け閉鎖。初期改修費の負債が一八五万円残りました。利用者のことを考え、奔走しましたがよい案が見つからず、昨年八月に以前の施設を解体してこの四月新しい施設を開所しました。そこには、また、震災がなければ配食サービスを始めるはずだった場所を実施していた被災者向けのサロンも一緒に週二日、開設しています。

一九八〇年からのいじめや不登校に悩む子供たちのためのフリースクールを開設、一生幸せに生きることを目指しフリースクールと高齢者の宅老所を運営しているNPO法人創る村。震災直前に、高齢者のデイサービスと宅老所を新築し四月一日開所予定でした。その建物が津波で一階床上二五〇センチの浸水。新築金額は四〇〇万円を超え、その三分の二強は銀行からの融資、加えて被害を受けた建物改修費用が一八〇〇万円以上。それでも利用者のために、施設の再開を決意し、多くの方からの協力を得て、助成金や寄付を集め、一〇月にデイサービス開所にこぎつけました。協力してくれた地域の人のつながりを大切に活動していきたいといいます。



▲NPO法人創る村・館屋善太理事

宮城県栗原市で交通事故や脳疾患等

の後遺症で中途障害者となった人たちの自立と社会参加の支援を行うNPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ。自立支援のための施設と介護保険のサービス施設の二棟を運営しています。震災後、介護保険の施設が耐震診断の結果、「倒壊の可能性が高い」と診断を受け、市の借地を利用して新しい施設を建築することになりました。建物については融資を頼り、設備や備品などのその他の経費は、国庫補助金と四つの民間財団からの助成を得て、今年の四月に新しい事業所を開所しました。

石巻市吉野町でさをり織りを中心に障がいを持つ人達の自立と社会参画を支援する地域活動支援センターを運営するNPO法人輝くなかまチャレンジ。センターが入居するビルにも津波が押し寄せました。六階に避難して利用者や職員は全員無事だったものの、近所の方も含め四〇人余りが一時孤立。全員救助されたのは一週間後でした。

事業再開を模索したものの、地盤沈下による冠水が続ぎ、元の場所での再開は断念。石巻市に相談し、蛇田地区の仮設住宅サポートセンターの一角を借り、八月に活動を再開。助成金を活用して、仮設の方との交流を深めてきました。新しいセンター設置も視野に、基金設置や認定NPO法人取得を



▲NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元 中村怜子代表理事

目指しています。

山元町山寺で介護保険事業、宅老、移送、雑用代行などの介護保険事業外の六つの事業を行うNPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元。震災で宅老所が土台を残して流失し、「デイサービスは一階天井まで津波で浸水。代表も夜まで海水に浸かり、スタッフや利用者も犠牲者になりました。五月頃まで意欲を失い途方に暮れる状態でしたが、地域からの要望もあり、仮設住宅の支援活動をしながら施設の改修を進め、一〇月にデイサービス事業を再開しました。地域福祉の担い手として期待され、今年度中に町からの支援で高台にケアホームが新築されます。現在も月二回、仮設住宅でパラソル喫茶を開き、被災者自ら、被災者支援の活動を続けています。

高齢者のグループホーム九棟を運営していた気仙沼市のNPO法人なごみ。本吉にあった四棟が津波で流失しました。残った施設で介護を継続しました。震災特例での通常の倍以上の利用状態では十分な介護ができず、待っている利用者の希望に応えるために、四月には残った施設の改修や増設を実施。流された四棟のうち一棟は国の補助金が四分の一出ることになり、事業所は十一か所に増えました。また、震災後、一関市室根町にある仮設住宅のサポートセンターの運営や介護ヘルパーの養成を気仙沼市から委託されるなど、活動領域が広がっています。被災しても職員はす



▲NPO法人のんびりすみちやんの家 伊藤寿美子代表理事

べて継続雇用し、震災前の状態へ戻ることを目指すのではなく、より良い介護ができる環境をと頑張っています。

東松島市で高齢者のデイサービスとグループホームを運営していたNPO法人のんびりすみちやんの家。津波で二施設とも浸水。グループホームは再開の見通しが立たず閉所し、被害の少なかつた自宅を修繕しデイサービスを再開。泥かきをしていた頃、「日付を決めて事業を再開しよう」と声を掛けられ、再開に向けて動き、一千人近いボランティアが協力。その縁もあり、地元ボランティアをつないできました。ところが再開後もメートルの地盤沈下で、二度の浸水。雨のたび避難を余儀なくされ、移転先を探しています。東松島市は八八パーセントが浸水し、浸水していないところの多くは都市計画の調整区域。何も建てられない状態です。住民が帰ってこられるよう仙石線の再開誘致活動も行い、既存の仙石線の線路を少し高くし、命を守る第四の堤防にしようと呼びかけています。



▲NPO法人みどり会 尾崎正光理事長

仙台市で精神障害者のグループホーム二施設、小規模地域活動センター二施設を運営するNPO法人みどり会。若林区荒浜の地域活動センター「みどり工房若林」が津波に襲われ、基礎を残し全壊。当日施設にいた利用者七名とスタッフ四名は、避難時にはばらばらになり、四日間連絡がつきませんでした。震災三週間後の話し合いで、再開を目指すことに決め、仙台市と交渉し昨年暮れに新しい施設で

活動を再開。今年、仙台市の姉妹都市リヌのナチキス銀行から助成を受け、新施設のパンフレットも完成しました。今後は、家族会の持つ経験を活かし、被災された方の精神面の支援を行いたいと、自前施設での相談センター設置を目指しています。

復興に向けたNPO支援

九団体の報告を聞いた主催者である、NPO法人杜の伝言板ゆるるの大久保朝江代表は、「NPOは人を支えるのが仕事。人を支えるところにNPOの価値があるとすれば、被災地に人が戻ってこない」とNPOの活動は始まらないと復興への道の課題を話しました。

今後、既存の団体が今まで通り活動できるような支援する一方で、新たに被災地でNPO法人を立ち上げて活動を始めている人たちをどう支援していくのか、NPO支援組織のあり方が問われます。直接の資金支援力を持たないゆえるとしては、資源を持つ人や組織を繋ぐ確かな情報を提供することが重要になってきます。被災地の復興は、NPOなしではできません。今後も被災地に寄り添い、地域が自立していくためのNPO活動を支援していきます。

復興みやぎホームページ

●<http://www.fukkou-miyagi.jp/index.html>

杜の伝言板ゆるるホームページ

●<http://www.yururu.com>

子育てしやすい街づくりを 目指し、現役ママたちが奮闘

● NPO法人子育て支援ベビースマイル石巻

震災直後、被災地では子育て世代ならではの問題が多々ありました。NPO法人子育て支援ベビースマイル石巻（以下、ベビースマイル）は、現役ママたちが、自らの体験を通して、地域の親子や妊婦への支援をするために、昨年五月から活動を始め、現在、会員は二五〇名。今年四月にNPO法人となりました。

助言で活動資金を獲得

前身は、石巻地域のママたちが長年運営を行っていた、未就園児の親子ピクニックのサークルです。震災直後、会の活動は停止し、メンバーの安否も確認できない状況が続きました。それまではお互いを〇〇ちゃんママと呼び合い、本名を知らなかったのが、新聞などを見ても確認ができませんでした。平時から緊急時に活かせるネットワーク構築の必要性を痛感しましたと、当学会の代表で、現在NPO法人の代表理事を務める荒木裕美さん。

自身、被災地の支援をしたいと想いながら、妊娠八か月と身重で動けずじまい。そんな中、被災地のママたちがさまざまなことで困っている、という情報を聞き、自分たちができることがあるので

はないか？

と考え、石巻市NPO支援オフィスに相談に行きました。そこで、活動について助言を受け、日本財団のROADプロジェクト



▲親子向けのイベント

に助成金を申請。結果、五〇万円の助成金を得て、五月から活動を始めました。

まず、思い切り遊ぶ場のない親子のために、昨年六月二〇日に石巻市蛇田で「親子の遊び場」を開催。ブログの告知や口コミで七組の親子が参加しました。参加者からは「なかなか子連れで遊ぶ場が無い中、とても楽しかった」「またぜひ開いてほしい」と好評を得ました。

その後、荒木さんは石巻市内で第二子を出産し、一カ月の静養の後、活動を再開。七月二十五日にはアートセラピー二十九日には子どもたちのための心のケアのセミナーを開きました。八月には、三菱商事復興支援助成金からも助成を受け、約一〇名のママたちを有償ボランティアスタッフとして登録。現在はママスタッフ

が中心となり、月に十〜十二回親子向けのイベントや、子どもたちの心のケアのための講習、マタニティー向けの育児講座などを開催しています。

出版など多彩な事業を展開

震災から時が経過し、ベビースマイルは、震災時の経験やそのときの思いなどのメッセージを、子どもたちに残したいと考え、昨年十一月に文集プロジェクトを立ち上げました。まずイベントなどに参加している会員約二〇〇人に声を掛けて、その中から三〇人がメッセージを寄せてくれました。ママスタッフ編集を行い、八〇ページの体験談集「子どもたちへママたちがいま、伝えたいこと」が一月に完成しました。一、〇〇〇部を製作し、これまでに三〇〇部を関係者や、千円以上の寄付して下さった方たちに寄贈しています。

また、石巻市地域づくり基金助成事業として、マタニティー未就園児を抱えるママ向けのフリーペーパーを、八月七日に第一号を発行。こちらにもママスタッフ制作を担い、現役ママの目線を活かした情報発信につとめています。今後、隔月で発行していく予定です。

そのほかにも、被災地の女性たちが制作した羊毛



▲左から代表の荒木さん、事務局鈴木さん、安倍さん

フェルト雑貨の販売などを通して自立を応援する、東京在住のママ達を中心にした支援活動『東北ちくちくプロジェクト』（運営母体株式会社そよかぜ屋）からの委託を受け、今年七月から石巻市内に開いた『ちくちくカフェ』の運営を担っています。このカフェは商店街の一角にあり、ヘアアクセサリーやストラップなどの羊毛雑貨が購入できるほか、一日五〇〇円で体験もできます。ベビースマイルの事務局スタッフで、ちくちくカフェ店長の安倍舞さんは、「先方から依頼を受け、被災地の女性の自立を支援するというコンセプトに共感し、運営を担うことになりました。制作者の収入につながるよう、指導にも力を入れて行こうと考えています」と話します。

ベビースマイルでは、今後、地域の親子が集えるコミュニティカフェを作り、子育て中のママたちの資格や特技などを活かして、収入につながる事業なども行いたいと、計画しています。

「妊婦、未就園児のママたちは、社会との接点が少なくなりがちです。子連れでも積極的に社会と繋がれる場づくりや、そうしたネットワークを構築し、楽しみながら子育てしやすい環境を作って行こうと思います」と荒木さん。夢は広がり、ひとつひとつ形にしていきます。

NPO法人ベビースマイル石巻

〒986-0871 石巻市清水町1-5-18-501
●TEL:0225-24-8304 ●FAX:0225-24-8305
●http://www.forbabysmile.com/index.html

仮設住宅に暮らす 被災者を個別にサポート



● NPO法人アクアゆめクラブ

NPO法人アクアゆめクラブ(代表本田正典)は、地域住民による七ヶ浜町の総合型地域スポーツクラブです。平成十七年にNPO法人を立ち上げ、活動を開始。幼児から高齢者までを対象にしたさまざまなスポーツ教室、多彩なイベント、地域の子どものための放課後子ども居場所づくりなどを行い、スポーツにとどまらず、地域住民の健全なコミュニケーション作りを寄与しています。また平成十八年からは、七ヶ浜町総合スポーツセンター内九施設を、指定管理者として運営しています。

昨年の七月からは、七ヶ浜町からの委託で、応急仮設住宅総合サポートセンター(以下、応急サポートセンター)の運営も担っています。

被災住民の役に立ちたい

昨年の五月、七ヶ浜町からアクアゆめクラブに、仮設住宅の見守りなどを行う「応急仮設住宅管理」を引き受けて欲しい、と打診がありました。

「これまで町と協働で、地域住民の健全なコミュニケーション作り事業などをしてきた実績などを考慮し、民間の私たちに担ってほしいという依頼でした。ただ、自

分達の領域とは全く違うため、自分達に本当にできるだろうか?と不安も多く、何度も協議を重ねました」と理事で、応急サポートセンター事務局の斉藤和枝さん。最終的には、被災にあった住民の皆さんの役に立ちたいという思いで、引き受けることになりました。

まず、町の総務課や地域福祉課、健康増進課などと運営方法などについて協議をし、六月には緊急雇用で八名のスタッフを採用。介護施設や障害者自立支援施設に勤めていた介護者など、有資格者を中心に、仮設住宅を訪問することになりました。七ヶ浜町では六月中旬に仮設住宅への全被災者の入居が完了し、七月一日付で応急サポートセンターを立ち上げ、動き始めました。

信頼を得て集めた情報で 個別支援を展開

最初に取り組んだのが、一戸一戸の仮設住宅を繰り返し訪問し、信頼関係を築くことでした。個人情報関係で、町から提供されたのは、名前と年齢程度。家族構成や既往症、介護状況など、各自をサポートするのに必要な情報は、関係を築きながら少しずつ集めていきました。そうした情報を蓄積したデータベー

スを作り、毎日訪問しなければいけない、二、三日に一度、一週間に一度、などそれぞれに合わせた訪問回数や、血圧を測定して管理が必要な人など、各自の訪問メニューを作成し、寄り添った見守りを行っています。

こうして足で集めたデータは、アクアゆめクラブだけでなく、月に二度の町の担当課や社会福祉協議会との会議などで情報を共有し、必要なところに繋ぐなど、地域全体でサポートに取り組んでいます。

「今日は来ないの?」と連絡がきたり、手料理をお土産に持たせてくれたりと、仮設住民にすっかり受け入れられ、信頼を得ています。

また、応急センターでは仮設住民向けの、支援物資の受け入れやボランティアの調整などもおこなっています。以前は届いた物資を仕訳、各戸に配布をしていましたが、現在は物資だけの受け入れは基本的に断り、例えば食料を届けてもらって、一緒に料理を作って食べるなど、人を伴った支援のみ受け入れています。

「仮設の住民の皆さんから、一方的に支援を受けるだけでなく、自分達でできることは自分達でやりたいという要望が増えたことから、ボランティアの受け入れ方を見直しまし

た。今後も要望に合わせ支援の形を見直していきたいと考えています」と斉藤さんは話します。



▲仮設住宅に作った畑作りのお手伝いなども

委託終了後の 長期支援を模索

現在、さまざまな形で厚い支援を受けている仮設住宅の被災者ですが、数年後に町の災害復興住宅が完成すれば、そうした支援が無くなり、仮設住宅で新たに生まれたコミュニティも、またバラバラになつてしまいます。アクアゆめクラブでは、プログラムなどを利用し、共に暮らした人たちが離れても、また繋がれる場を提供するのはどうかなど、委託終了後についても、現在模索しています。

「あの時やつぱり、アクアゆめクラブに担ってもらって良かったと、多くの人たちに思ってもらえるよう、自分達らしさを工夫しながら、長期で支援を続けて行こうと考えています」と理事の木間奈津子さん。スポーツと被災者支援という両輪を融合させた、アクアゆめクラブらしい被災者支援を、今後も進めていきます。



▲左から理事の斉藤さん、木間さん

NPO法人アクアゆめクラブ

〒985-0802 宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山1-2
総合スポーツセンター管理棟内
●TEL:022-357-7920 ●FAX:022-357-7921
●http://www.k3.dion.ne.jp/~aquayume/



● NPO法人防災士会みやぎ

一九九五年に起きた阪神淡路大震災での被害をきっかけに、自分の命は自分で守る、お互いに助け合うことの重要性が見直され、防災知識を持つ人を増やし、地域に防災知識を広めるリーダー育成を目的に、二〇〇二年七月にNPO法人日本防災士機構が設立されました。同機構が行う資格取得試験に合格すると、民間資格である防災士として認証され、現在、県内の所有者は約六〇〇人います。その中の有志により、平成十九年五月に宮城県支部が発足し、現在のNPO法人防災士会みやぎへ引き継いでいます。会員は、水道や地質などの技術者から、公務員、マスコミ関係者など、多彩な顔触れで、防災知識の普及に取り組んでいます。



▲理事長の高坂一憲さん

具体的な活動は県内全域を対象に、町内会や学校などで防災知識を広める防災訓練や、防災対策講座等の啓発活動、行政からの委託を受けて、災害時にリーダーとなる人材を育成する、地域防災リーダー研修などを、行っています。

子どもから大人へ、
伝わって行く防災知識

東日本大震災時、防災士会みやぎの理事長高坂一憲さんは、震災一〇日後の三月二十一日、会員二名と仙台市若林区荒浜を視察し、被害の大きさを目の当たりました。その後、自分の目で被災地の状況を確かめたいと思い、仕事の合間を縫って、青森から小名浜までを見て回りました。被災地の被害の大きさを知っていくうちに、今まで行ってきた啓発活動へのむなしさと課題を感じました。

「失わなくていい命を、二万人も失ってしまった。自分たちがもう少し声をかけていけば、被害をもっと少なく出来たのではないか」と高坂さんは当時を思い出して、話します。

これまで継続的に行っていた防災知識の啓発活動では、防災意識に関する興味や危機感が薄く、防災知識が伝わっていない現実を目の当たりにしました。

また、若手県釜石市に伝わる、「津波が来たら一目散で逃げる」という『津波でんでんこ』『でんでんばらばら』という意味の教えを守り、小中学生のほ



▲防災セミナーの様子

んどが、無事に避難した事例。二〇〇四年に起きたスマトラ島沖地震では、イギリスからタイのプーケットに家族で観光に来ていた小学生の女の子が、小学校で津波が来たらすぐに逃げることを教えられていたことから、それを母親が地域の人に伝えて地域住民の命が助かりました。その事例から、災害時は子どもへの影響力が大きいことを知りました。

そこで、幼稚園や、保育園の子どもを対象とした『滅災絵本』を作成することにしました。絵本は、宮城県が拠出するNPO支援基金「みやぎNPO夢ファンド」から三〇万円の助成金を得て、年内中に五〇〇部作成します。津波だけにとどまらず、さまざまな災害に備える内容で、絵を多く使い、小さな子どもでも理解できるように絵本にしたいと考えています。完成後には県内の幼稚園、保育園や各施設での講演に、使用する予定です。

これから
守っていく自分の命

一方、大人に対しては、防災知識を広める活動の担い手、防災知識を持つ地

域のリーダーを育てていくために、今まで同様、防災訓練や講座などを県内全域でおこなっていきたくと考えています。また、震災以後、全国に広がる防災士会との繋がりも増え、そうした人たちの現地視察のコーディネートなども行っています。

今後、多くの人にこの活動を知ってもらうため、信用性を高め、地域に根ざした活動を展開しようと、今年の四月、NPO法人の認証を受けました。法人になったことにより、講演依頼が、町内会や学校だけでなく、企業からも増えました。

高坂さんは「これからも、自分の命は、自分で守ることの大切さを、広く伝えていきたい」と語ります。

学校では防災担当の先生が指名され、防災に対して意識が高まっている現在、企業や町内会などで防災訓練や防災対策講座の依頼が増えており、五〇名程の会員ではマンパワーが不足しています。今後は、より防災知識を広めていくためにも、会員を一〇〇人に増やすことを目標に掲げ、活動していきます。

NPO法人防災士会みやぎ

〒983-0851
仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ内レターケースNO.22
●TEL:080-1821-0335
●http://bousaishi-miyagi.org/

みやぎNPOプラザ

事務ブースに新しく入る3団体が決定しました!

**みやぎ
NPOプラザ**
このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

ICT支援NPOネットワーク宮城 ICTを活用して活動や 組織運営を活発化するための支援

ICTとは、情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称をいいます。ICT支援NPOネットワーク宮城は、県内でICT活用の普及に取り組みNPO九団体が、共に学び、コミュニケーションに重点を置いた指導や、より質の高い技術の習得を目指し、平成十二年八月ネットワークを結成しました。これまで、一般向けのパソコン講座やネットワーク内の指導者のための研修などをおこなってきました。今年の四月からは県内各地の公民館や市民センター、仮設住宅集会所に、ネットワーク団体から講師を派遣し、県域でパソコン等の講座を開催しています。



事務局長の都築秀穂さんは「事務ブースを利用し、9団体のネットワークの連携の強化や、情報の受発信、個別指導などを行いながら、ICT普及のための人材育成の場などに利用したい」と話しています。

NPO法人日本の平和と安全基盤を支える会

安全災害に強い地域社会の発展に寄与

NPO法人日本の平和と安全基盤を支える会(東京)は、自衛隊OB並びに消防団員の現役とOBたちが中心となって活動している団体です。青少年から、高齢者までを対象に、災害時の避難、誘導、救助、復興などのノウハウを広めていくため、全国で講演会やセミナー、訓練等を開催しています。

現在、東北復興支援として、全国の自衛隊OBに参加を呼びかけ「福島お助け隊」と称し、除染作業の根拠になる事前の放射

連絡先
E-mail ict@ictnpo-miyagi.jp

能測定を、福島県内各地で実施しています。被災三県での災害復旧支援のため、東北本部を立ち上げ事務ブースに入居しました。



橋詰邦男さんは、プラザの事務ブースについて「応援に来る会員の受入れ活動拠点として位置づけています。東北本部の組織づくり、防災に関する教育活動としてセミナーの開催、地域防災に関する調査研究、情報誌発行のための情報収集などに活用したい」と話しています。

連絡先
Email sheep305@grace.ocn.ne.jp

心の支援

女性の相談事業を通して、一人でも多くの人の心の支えになる

今年発足したばかりの任意団体で、平成二十四年三月で終了した、内閣府の被災地支援事業の相談員として従事した方々で構成されています。その相談業務で、被災者の「心」の声を聞き、この声をそのまま埋めさせてはならないと、相談支援の必要性を感じました。そこで、任意団体を立ち上げました。主に女性を対象とした電話相談、心のさるんと、仮設住宅に向き、女性を対象とした対面相談をおこなう、「心のサロン」という活動を柱に、必要に応じて相談機関の情報提供などをおこなう、相談援助支援事業を展開します。

プラザの事務ブースについて、代表の高橋由利さんは「東日本大震災での被災者支援として、電話相談の活動拠点、心のサロン開催会場、神戸の支援団体を始めとして全国の専門家に研修の他、一般向けにスキルアップ研修の他、一般向けに研修などでプラザを活用して行きたい」と話しています。

連絡先
非公開(電話窓口未設置のため)

宮城県のNPO法人数
※2012年8月10日現在

302 団体

仙台市のNPO法人数
※2012年8月10日現在

374 団体

●NPO法人の設立を新しく申請した団体●

宮城県所轄分7月11日~8月10日 / 仙台市所轄分7月11日~8月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県 樺の島21世紀プロジェクト	気仙沼市	気仙沼地域の経済活動の活性化を図る活動に関する事業を行う	7/24
かえる	太白区	介護保険法に規定するサービスの提供及び受託事業、障害者自立支援法に規定する障害福祉サービス事業等	7/12
仙台市 バルサモ学習指導奉仕協会	青葉区	語学教育と学習に関する国際大会の開催、語学教育と学習に関する研究助成金の授与、語学教育と学習に関する出版物の発行	7/19
希望の光	太白区	震災被災地の農林水産業の事業再開支援事業、震災被災地の農作物、水産物などの地域産品に関する広報支援事業等	7/20
宮城メモリアルパーク整備官学連携協議会	泉区	メモリアルパーク構想実現を支援する地域活動、メモリアルパークに関連した地域振興事業の発掘及びその事業化支援	7/30
恋育	宮城野区	結婚相手を紹介する事業、恋愛・結婚についての相談会を行う事業	8/7

●NPO法人に認証された団体●

宮城県所轄分7月11日~8月10日 / 仙台市所轄分7月11日~8月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県 りあすの森	石巻市	自然との共生、相互扶助の理念のもと、心豊かで持続可能な地域づくりを行う	7/13
エフエムなとり	名取市	コミュニティFM放送事業	7/18
メディアページ	石巻市	一般市民に対する映像を中心としたTVやインターネットによる双方向の情報発信に関する事業等	8/9
住まいの相談	泉区	建築物に関する相談、子供たちへの就学支援事業	7/17
仙台ベルフィーユ	青葉区	総合型地域スポーツクラブの運営及びトップアスリートの発掘・育成・支援事業、スポーツ振興の発展・支援及び協力推進事業等	7/17
仙台市 まげんdeネット・みやぎ	若林区	子どもの健全育成のための課外活動支援事業、各地の各種市民団体等と被災地住民との交流事業等	7/18

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-hpo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡5

(指定管理者:(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成(第9次)

- 助成対象: 東日本大震災で被災された方を支援するボランティア活動等全般
 - ・緊急救援活動プログラム
 - ・生活支援活動プログラム
 - ・復興支援・コミュニティ活動プログラム
 ※被災地における活動だけでなく、被災者の避難先における活動も対象とします
- 対象団体: 被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等
 - ※任意のボランティアグループや団体等の場合、5名以上で構成されている団体であること
- 助成金額: 活動期間によって異なります
 - 短期(おおむね1ヶ月未満): 50万円以内
 - 中長期(1ヶ月以上): 1,000万円以内
- 助成期間: 平成23年3月11日から平成25年3月31日まで行われる活動
 - ※すでに終了した活動についても、さかのぼっての応募可
- 募集締切: 9月28日(金) 必着
 - ※第10次以降のスケジュールはHPでご確認ください
- 連絡先: 社会福祉法人 中央共同募金会
 - 企画広報部(ボラサポ担当)
 - TEL: 03-3581-3846 FAX: 03-3581-5755
 - E-mail: support@c.akaihane.or.jp

平成24年度 国際ボランティア貯金寄附金配分

- 助成対象: 事業対象地の状況や住民のニーズを十分把握し、BHN (basic human needs: 基礎生活分野)を充足させる事業
 - ・事業対象地の住民に対して指導、技術・ノウハウ移転又は医療行為を行い、かつ、住民の自立を支援する事業
 - ※その他要件については、要項をご確認ください
- 対象団体: 所定の要件を満たす、海外援助に関する事業を実施する非営利民間団体
- 事業期間: 平成25年度内に開始・完了する事業
- 助成金額: これまで配分を受けた実績のある団体については配分希望上限額1,000万円
 - それ以外の団体については200万円
 - (1年以上の海外援助事業実績を持つ国内の団体に限る)
- 募集締切: 9月28日(金) 消印有効
- 連絡先: 独立行政法人 郵便貯金・簡易生命保険管理機構
 - 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-8
 - 虎ノ門4丁目MTビル5F
 - TEL: 03-5472-7105 FAX: 03-5472-7169
 - E-mail: kikouchokin@yuchokampo.go.jp

第8回 TOTO水環境基金

- 助成対象: 日本国内および海外で行われる以下の活動
 - ・地域の水と暮らしの関係の再生または新しい文化の実現に向けた実践活動

- ・地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動
- 対象団体: 所定の要件を満たす、日本国内に本部を有する営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)
- 助成金額: 1件につき上限80万円(総額約1,000万円、15件程度)
- 助成期間: 2013年度中に行われる活動・事業
- 募集締切: 9月30日(日) 消印有効
- 連絡先: TOTO株式会社 総務部 総務第二グループ
 - 〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1
 - TEL: 093-951-2224 FAX: 093-951-2718

平成25年度 日本万国博覧会記念基金助成金

- 助成対象: 万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な次の活動
 - 1) 国際相互理解の促進に資する活動
 - 国際文化交流、国際親善に寄与する活動
 - 学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
 - 自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動
 - 2) 文化的活動
 - 日本の伝統文化の伝承及び振興活動
 - 芸術及び地域文化に関する活動
- 対象団体: 事業を遂行するに足る能力を有する、公益的な事業を実施する非営利団体(国及び地方公共団体を除く、法人格の有無は不問)
- 助成金額: 1) 100万～3,000万円(事業形態により異なります)
2) 50万円から100万円(総額約1億円予定)
- 助成期間: 平成25年度内に実施する事業
- 募集締切: 10月1日(月) 消印有効
- 連絡先: 独立行政法人 日本万国博覧会記念機構 総務部 基金課
 - 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1
 - TEL: 06-6876-5581
 - E-mail: jecfund@expo70.or.jp

平成24年度 公益信託仙台銀行まちづくり基金

- 助成対象: 以下に該当する、県内におこる「まちづくり」に必要な環境整備などの活動や調査研究。東日本大震災からの復興支援に関する助成申請を含みます
 - 1) 快適で文化的なまちづくりに必要な環境整備など実践活動
 - 2) まちづくりのために必要な調査、研究、情報提供
 - 3) 東日本大震災復興に向けたまちづくり活動
- 対象団体: 営利を目的としない活動を行う団体・個人
- 助成金額: 1件あたり上限30万円
- 募集締切: 9月末日
- 連絡先: 三井住友信託銀行 リテール受託業務部公益信託グループ
 - 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
 - 「公益信託仙台銀行まちづくり基金」係
 - TEL: 03-5232-8910
- 仙台銀行 企画部企画課
 - 〒980-8656 仙台市青葉区一番町2-1-1
 - 「公益信託仙台銀行まちづくり基金」係
 - TEL: 022-225-8258

- 主 催: JICA東北
- 連 絡 先: (ボランティア担当: 安住)
TEL: 022-223-4772
E-mail: jicathic-jv@jica.go.jp

10/2 基礎から始めるシニア講座 ～年賀状を作ろう!～

今年パソコンで年賀状を作成してみましょう!パソコンの基本操作からじっくり学び、はがきを作成する1DAY講座です。

- 日 時: 10月2日(火) 10:00～16:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 内 容: パソコンの基礎、マウス操作・文字入力・ワープロ操作
- 定 員: 10名(申込が3名未満の場合は中止)
- 料 金: 3,000円(テキスト込)
- 持 ち 物: パソコン(パソコンの予約も可)
- 申込方法: 下記連絡先まで申込
- 申込締切: 9月25日(火)
- 主 催: (特活)パソコンママネット
- 連 絡 先: 〒986-0873 石巻市山下町2-2-50
TEL: 0225-23-0822【月～金(祝・祭日除く)9:00～15:00】
URL: <http://www.pasomama.com/>

10/2～10/6 パネル展「子どもたちの3.11 ユニセフ東日本大震災報告写真展」

国内報道各社、著名な写真家の方々が撮影。被災を乗り越えて生きる子どもたちの姿、復興への希望を写真で表現しています。私たちは3.11を忘れない!

- 日 時: 10月2日(火)～10月6日(土)
- 場 所: 電力ビル1F アクアホール(仙台市青葉区一番町3-7-1)
- 参 加 費: 無料
- 主 催: 宮城県ユニセフ協会
- 連 絡 先: 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウズ内
TEL: 022-218-5358 FAX: 022-218-5945
E-mail: sn.unicef_miyagi@todock.jp
URL: <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

10/3 疑問を解決! NPO法人設立講座

NPO法人の設立に欠かせないポイントをわかりやすくお伝えする講座です。NPO法人化のメリット・デメリットについて学び、団体の活動に合った組織作りを目指しましょう。

- 日 時: 10月3日(水) 14:00～16:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師: 大久保朝江(特活)杜の伝言板ゆるる代表理事
- 対 象: NPO法人化を考えている任意団体の方、NPOの活動に興味のある方

- 定 員: 20名(先着順)
- 参 加 費: 800円
- 申込方法: 下記連絡先まで電話、FAX、メールにて申込
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

10/6 杉山孝博Dr.の「介護・看護専門職 のためのターミナルケア」研修講座

主に介護職や看護職を対象として、現場で役立つターミナルケアの知識を杉山Dr.がわかりやすく語ります。1年間で1,500名が受講した人気講座です。

- 日 時: 10月6日(土) 10:00～16:00
- 場 所: 東京エレクトロンホール宮城 6階会議室
- 講 師: 杉山孝博氏(「家族の会」副代表理事、川崎幸クリニック院長)
- 内 容: ★これからの高齢者ターミナルケアの特徴
★在宅あるいは施設におけるターミナルケアの意味とその条件
★告知・尊厳死・緩和ケア・死後のケア
★在宅ターミナルケアの実際と工夫
★訪問看護と訪問介護の役割分担
- 定 員: 150名
- 参 加 費: 一般5,000円、「家族の会」会員4,000円(資料代含む)
- 申込締切: 9月30日(日)
- 主 催: 公益社団法人認知症の人と家族の会
- 連 絡 先: 公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部
〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4
宮城県社会福祉会館2階
TEL/FAX: 022-263-5091

10/13 ☆わくわくどきどき!体験は宝物☆ 『お魚がきっと好きになる料理教室』 ～海の幸でごちそう作り～

旬の海の幸を使った料理を作ります。「どんなお魚が並んでいるのかな・・・」売り場探検など、楽しく学び、お魚大好きになろう!

- 日 時: 10月13日(土) 10:30～14:00
- 場 所: みやぎ生協幸町店 2階調理室
- メニュー: ★はらこ飯 ★鮭のチーズハンバーグ
★鮭のあら汁 ★ぶどうゼリー
- 定 員: 幼稚園・小学生の親子10組と大人4名
- 参 加 費: 1組1,500円、大人のみ1,000円
- 申込方法: 住所、電話番号、氏名、年齢、「お魚がきっと好きになる料理教室」と明記し、ハガキ・FAX・メールにて申込
- 申込締切: 10月5日(金)
- 主 催: 食育NPO「おむすび」
- 連 絡 先: (代表: 清水)
E-mail: tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp
(事務局: 木村)
〒984-0822 仙台市若林区かすみ町1-47
TEL/FAX: 022-285-0824

情報をお待ちしています

- 申込方法: 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切: 毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327
e-mail: npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- 参加費:無料
- 主催:こりれいず
- 連絡先:TEL:070-5470-6355
E-mail:korireizu@gmail.com

9/23 東日本大震災に伴う 「震災と女性」調査報告会

このたびの震災で、女性たちは何を体験し、何を考え、どう行動したのか、宮城県内の女性1500人の調査から、被災地の女性たちの現実を伝えます。

- 日時:9月23日(日) 15:00~17:30
- 場所:エル・パーク仙台セミナーホール(仙台三越定禅寺通館5階)
- 内容:★調査報告
報告:宗片恵美子(特活)イコールネット仙台代表理事
★講演「震災から1年半 女性たちが抱えた困難を繰り返さないために今、行動すべきことは…」
講師:浅野富美枝氏(宮城学院女子大学教授、(特活)イコールネット仙台理事)
- 参加費:500円
- 申込方法:氏名、連絡先を明記の上、FAXにて申込
- 主催:(特活)イコールネット仙台
- 連絡先:TEL:090-1398-5065 FAX:022-271-8226(佐藤)

9/25 親業セミナー「子どもを伸ばす関わり方」 ～子どもの自主性を育てるには～

子育てについて、日頃疑問や問題を感じていませんか?親と子のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす“ゴードン博士のコミュニケーション・メソッド”を紹介します。

- 日時:9月25日(火) 10:00~11:45
- 場所:エル・パーク仙台(仙台三越定禅寺通館5階)
- テーマ:「心に届く言葉とは…」～あなたの一言で相手が変わる～
- 講師:石田えみ子氏(PETフォーラム代表、親業訓練シニアインストラクター)
- 参加費:1回500円
- 主催:PETフォーラム
- 連絡先:TEL/FAX:022-281-0858
URL:http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/index.html

9/26 マスコミに注目される プレスリリースの方法

- 日時:9月26日(水) 14:00~16:00
- 場所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師:吉川由美氏(有限会社ダハプランニングワーク代表取締役)
- 対象:NPOや市民活動団体のメンバー、スタッフなど
- 定員:20名(申込先着順)
- 資料費:800円
- 申込方法:下記連絡先まで電話、FAX、メールにて申込
- 主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

9/27 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日時:9月27日(木) 13:00~17:00
- 場所:みやぎNPOプラザ

- 定員:3団体(先着順)※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

9/28 フィリピンボランティア奮闘記

定年退職後充実した第2の人生をおくるための選択肢として、海外でボランティアをしませんか?2年間のフィリピンでボランティアの体験発表とボランティア派遣の説明会を行います。

- 日時:9月28日(金) 13:00~15:00
- 場所:仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール
- 内容:★ボランティア体験発表※詳細要問合せ
★ボランティア派遣の仕組み
田邊智男氏(技能ボランティア海外派遣協会コーディネーター)
★質疑応答
- 定員:40名
- 参加費:無料
- 申込方法:不要、直接会場へお越しください
- 主催:日本財団シニア海外派遣プロジェクト
技能ボランティア海外派遣協会
- 連絡先:TEL:090-1374-6425 (我妻)
E-mail:kurione1114@yahoo.co.jp

9/30 女性のためのこころのケア講座 喪失とグリーフ(深い悲しみ) ～深い悲しみに向き合ってみよう

DVなど、傷ついた経験をもつ女性のための講座です。講座の終わりには、持ち帰りのできるしおりやカードを作ります。

- 日時:9月30日(日) 13:30~15:30
- 場所:エル・ソーラ仙台
- 対象:仙台市内在住・通勤・通学の女性
※高校生以上の当事者女性に限る
- 定員:20名
- 参加費:500円(アート材料費、お茶代)
- 託児:子ども1人300円 ※6ヶ月以上小学1年生まで
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについても応相談
※先着順、定員になり次第締切(託児締切:9/20)
- 申込方法:下記連絡先まで問合せ(受講受付:8/6 9:00~)
- 主催:仙台市/(公財)せんだい男女共同参画財団
- 企画協力:(特活)ハーティ仙台
- 連絡先:エル・ソーラ仙台相談支援係
TEL:022-268-8302(9:00~17:00 日祝・休館日を除く)
URL:http://www.sendai-l.jp

9/30 10/21 JICAボランティア 体験談&説明会

今回は地元出身のボランティアOB/OGの方々からの、これまで実際に体験してきた生の声をお届けします。また、制度面に関する不安や悩みについても対応致します!

- 日時:9月30日(日)、10月21日(日) それぞれ
シニア海外ボランティア(40歳~69歳) 10:30~12:30
青年海外協力隊(20歳~39歳) 14:00~16:00
- 場所:仙台第一生命タワービルディング11F C会議室
(地下鉄 勾当台公園駅下車3分)
- 内容:事業概要説明、体験談発表、活動紹介DVDの上映、個別応募相談、資料の閲覧、活動紹介パネル展示 など
- 参加費:無料
- 申込方法:不要

9/15 古着をリメイク 布のネックレス作り ～着なくなった洋服をリメイク、布のネックレス作り～

家にある着なくなった服や布をおしゃれにリメイク。着古した洋服や古い布などで布ネックレスを作ります。好きな色、好きな素材で自分好みにリメイクしましょう!

- 日 時: 9月15日(土) 13:30~14:30
- 場 所: MELON事務局
(仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル5F)
- 定 員: 10名
- 参加費: 一般400円、会員300円
- 持ち物: 切っても良い洋服、古い布(15cm×15cm)、裁縫道具、マイタンブラー
- 申込方法: 「氏名(フリガナ必須)」「連絡先」を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切: 9月13日(木)
- 主 催: 公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連絡先: (担当: 菅田)
TEL: 022-276-5118
E-mail: melon@miyagi.jp.org

9/18 10/5 認定NPO法人申請実践講座

本気で認定NPO法人の申請を考えている団体のための実践講座です。2日間でPST判定から申請書作成まで、専門家が個別相談を行いながら指導し、講座後も専門家相談を予定しています。

- 日 時: 9月18日(火)、10月5日(金) 両日10:00~17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 講 師: 脇坂誠也氏(税理士/中小企業診断士)
- 内 容: ★認定NPO法人制度の概要 ★申請要件と手続き
★申請書の作成法 ★申請書作成ワーク
★個別相談 など
- 定 員: 25団体(先着順、両日参加できる団体)
- 持ち物: ワード・エクセルが使えるパソコン
(持参できない方応相談)
- 参加費: 無料
- 主 催: 宮城県
- 連絡先: (特活)杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙をご覧ください)

9/18 障がい者グラフィティ Vol.12

東日本大震災の記録誌発行に至った経緯や、内容紹介などのお話を伺います。そして、この記録誌が担う役割と、どう復興支援に関わっていくかについて参加者の方々と対話します。

- 日 時: 9月18日(火) 14:00~15:30
- 場 所: せんだいメディアテーク7F スタジオa
- 内 容: 「東日本大震災の記録誌発行とこれから」
- ゲ ス ト: 谷田部眞理子氏(泉区福祉ガイドブック作成委員会顧問)
- ホ ス ト: 伊藤清市氏((特活)ゆにふりみやぎ代表)
及川智氏(CILたすけつと代表、被災地障がい者センターみやぎ代表)
- 参加費: 無料
- 申込方法: 不要(ユーストリーム配信あり)
- 主 催: (特活)ゆにふりみやぎ/CILたすけつと/せんだいメディアテーク
- 協 力: 被災地障がい者センターみやぎ
- 連絡先: (特活)ゆにふりみやぎ
TEL/FAX: 022-293-9505
E-mail: ufmiyagi@gmail.com

9/18 サポセンサロン4 情報発信力を高める! 情報交換会

今回のサポセンサロンは、復興支援活動の情報発信や記録を行っている団体同士の交流会です。地域情報の発信力を高め、それぞれの団体がより良い事業を行うための情報交換の場です。

- 日 時: 9月18日(火) 18:00~20:00
- 場 所: 仙台市市民活動サポートセンター3F
相談・つながるサロン
- 内 容: ★参加者自己紹介 ★情報交換
★サポセンからの情報提供 など
- 対 象: 地域紙発行団体、復興支援活動情報発信・記録団体など
- 定 員: 15名
- 申込方法: 名前、所属、連絡先(住所、電話番号、FAX、E-mail)、質問(情報交換したい内容や他団体に聞いてみたいことなど)を明記の上、電話、FAX、または直接窓口にて持参して申込
- 主 催: 仙台市市民活動サポートセンター
- 連絡先: (担当: 菅野、葛西、菊地)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
TEL: 022-212-3010 FAX: 022-268-4042

9/21 ~ 9/25 ニシピリカのさをり織り展

里山の美しい自然の中にある、古民家を改築した美術館、板倉の中に広がる美しいギャラリー、自然の中に鮮やかに映えるさをり織りをご覧ください。

- 日 時: 9月21日(金)~9月25日(火)
開館時間11:00~17:00
- 場 所: 風の沢ギャラリー(栗原市一迫片子沢外の沢11)
- 主 催: (特活)黒川こころの応援団/nisipirica(ニシピリカ)
- 連絡先: 〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL: 070-5546-8669(遠藤)

9/22 9/23 うーん? 分かった! といえるパソコン講座

パソコンを購入して始めたい人、パソコンをやっているけどちょっと分からないことがある...そんな人向けに開催されるパソコン教室です。様々な個別のニーズに対応します。

- 日 時: 9月22日(土) 13:00~15:30まで
みやぎNPOプラザ 研修室
9月23日(日) 10:00~12:00
東松島市老人福祉センター(小松上上浮足252-3)
- 参加費: 1,000円/1回
- 主 催: (特活)ばざーる太白社会事業センター
(略称ビートスイッチ)
- 連絡先: TEL: 070-5620-8198 FAX: 022-292-7162

9/23 テーブルゲームであそぼう!9

国内・国外のボードゲームやカードゲームを、こどもも大人も一緒に楽しく遊べます。家族や友達と一緒にはもちろん、お一人でも、ぜひご参加ください。

- 日 時: 9月23日(日) 13:00~16:00
- 場 所: 仙台国際センター 研修室A
- 対 象: どなたでも

- 場 所: 迫町にぎわいセンター(登米市迫町佐沼西佐沼70)
- 申込方法: 下記連絡先まで電話にて申込
- 申込締切: 受講日の前日まで
- 主 催: (特活)パソコン・ネット・みやぎ
- 連 絡 先: TEL:0220-21-5262

9/11 10/9 スター・ペアレンティング講座2012 ~叩かず、甘やかさず 子育てする方法~

子育て、うまくいってますか? うまくいっていないのなら、それは子どもに合っていないということです。親も子どもストレスのない子育ての方法を見つけましょう。

- 日 時: 第2回:9月11日(火) 第3回:10月9日(火)
10:00~12:00
- 場 所: 仙台市福祉プラザ
- 内 容: スター・ペアレンティングを使った自分の子育て法を考える
- 対 象: 関心のある方はどなたでも
- 定 員: 24名(申込み確定順: 定員になり次第締切)
- 参 加 費: 各回500円(当日受付でお支払いください)
- 持 ち 物: 筆記用具
- 託 児: 無料(要事前申込・先着順・定員7名・1才~未就学児)
- 申込方法: 氏名(読み仮名)、連絡先(電話・FAX・メールアドレス)、託児希望の方はお子さんの名前(読み仮名)、年齢、性別を明記の上、FAX・メールにて申込
- 主 催: CAPみやぎ
- 連 絡 先: TEL:070-5017-4389 FAX:022-258-7540(田中)
E-mail: starparenting_miyagi@yahoo.co.jp
URL: http://www.cap-miyagi.net

9/14 10/5 12/14 福島ママのための ママともサロン0123

こどものこと、これからのこと、自分のこと。震災後、不安を抱えて福島県から仙台に避難してきたママたちでおしゃべりしましょう。少しだけ子どもと離れて自分の時間を作りませんか?

- 日 時: 9月14日(金)、10月5日(金)、12月14日(金)
2013年2月6日(水)、3月8日(金) 全日程10:30~12:30
- 場 所: エルパーク仙台(仙台三越定禅寺通館5F) 和室
- 対 象: 福島県から避難してきた乳幼児の母
- 定 員: 10名(お子さんと一緒に)
- 参 加 費: 無料
- 託 児: 生後6カ月~未就学時まで(定員10名、無料)
場 所: エルパーク仙台 子どもの部屋
持ち物: おむつ、着替え、ビニール袋(2枚)、おしりふき、子どもの飲み物
- 申込方法: 電話またはのびすく窓口にて直接申込
※開催日の前月7日から受付
- 主 催: (特活)せんだいファミリーサポート・ネットワーク
仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台
- 連 絡 先: 仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-24
仙台市ガス局ショールーム3階
TEL:022-726-6181
URL: http://www.nobisuku-sendai.jp/

9/14 映像分のトウホクのハレとケ×秋田 (えいぞうぶんのとうほくのはれとけかけるあきた)

昭和・平成時代、秋田県内で撮影された「ハレ(特別な日)」と「ケ(日常)」の映像を上映します。秋田県の映像を見なが

ら、秋田や東北の今と昔について語りませんか?

- 日 時: 9月14日(金) 18:30~20:00
- 場 所: せんだいメディアテーク7階 スタジオa
- 内 容: ★ハレ(お祭り)の映像
★ケ(暮らし)の映像 ※詳細問合せ
- 参 加 費: 無料
- 申込方法: 不要、会場へ直接お越しください
- 主 催: (特活)20世紀アーカイブ仙台/せんだいメディアテーク
- 連 絡 先: (特活)20世紀アーカイブ仙台
TEL:022-387-0656 FAX:022-387-0651
E-mail: npo@20thcas.or.jp
URL: http://www.20thcas.or.jp/

※被災地の定点を撮影し、参加者と話し合う「3・11定点観測アーカイブ・プロジェクト公開サロン」を、せんだいメディアテーク7Fで毎月開催中。

9/15 9/17 Shortpiece! 仙台短篇映画祭 2012 関連企画イベント

映画上映だけでなく、こんな企画もご用意しています! ぜひご参加ください。

※その他、企画、交流会あり。HP要確認

【考えるテーブル シネマてつがくカフェ 「震災と映画」】
作る人、観せる人、そして観る人がテーブルを囲み、「震災と映画」「震災後の映画のあり方」について対話します。

- 日 時: 9月15日(土) 17:30~(受付は17:00~)

【トークセッションWorks×Talks 「映画×仕事」】
2人の映画監督をゲストに迎え、映画監督の知られざる日常、シゴト、そしてこれからのことについて参加者を交え対話します。

- 日 時: 9月16日(日) 15:15~16:15(予定、受付は14:30~)

【サロン・ド・シネマ・佐伯一と語る マルグリット・デュラスの世界】
フランスの作家兼映画監督でもあるマルグリット・デュラスの作品を題材に、映画について話します。

- 日 時: 9月17日(月・祝) 16:15~17:30(予定、受付は16:00~)

【共通事項】

- 場 所: せんだいメディアテーク
- 主 催: 仙台短篇映画祭実行委員会
- 連 絡 先: 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内
TEL: 080-3146-6085(日野)、
080-3194-1202(庄司)※留守電折返し
E-mail: info@shortpiece.com
URL: http://www.shortpiece.com/

9/15 第125回 生と死のセミナー 「生と死を見つめて」

- 日 時: 9月15日(土) 13:30~15:30
- 場 所: 仙台市医師会館2階 多目的ホール(駐車場なし)
- 講 師: 阿部邦子氏(童話作家)
- 参 加 費: 一般500円/会員無料
- 主 催: 仙台ターミナルケアを考える会
- 連 絡 先: 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎいのちと人権リソースセンター内
TEL/FAX:022-293-3275(毎週水曜日13:00~16:00)
E-mail: t-care@poem.ocn.ne.jp

TEL:03-5225-1545 FAX:03-5225-1563
 E-mail:jvca@jvca2001.org
 URL:http://www.jvca2001.org/

イベント

毎週水曜 NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日 時:毎週水曜日 13:00~17:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

9/7 10/19 11/23 平成24年度 子育て支援者のためのスキルアップセミナー

子どもたちの笑顔は、保護者や周囲の方々の笑顔から生まれます。地域の子育てを支える支援者の皆さんが、今以上に自信を持って楽しく活動していくためのセミナーです。

- 日 時:9月7日(金) 19:00~20:30
★保育に役立つ手作りおもちゃ
講師:まいてい・ノーム氏(マルチパフォーマー)
- 10月19日(金) 19:00~20:30
★自閉症スペクトラム障がいの特性理解
講師:猪又初恵氏(AASEM 臨床心理士)
- 11月23日(金) 10:30~16:30
★大人も子どもも笑顔満開講座
講師:そらとぶクレヨン(親子向けパフォーマンスグループ)
- ★体を動かして楽しもう
講師:斎藤勇介氏(特活)子育て応援団ひよこ理事長
- ★分科会
保育環境について、保護者の気持ちQ&A ほか
- 場 所:名取市那智が丘児童センター(名取市那智が丘2-1-2)
※駐車場あり、隣接する小学校の駐車場も利用可
- 対 象:子育て支援者(保育士、幼稚園教諭、学生、ボランティアなど)
- 定 員:70名程度(定員になり次第締切)
- 参 加 費:1講座毎申込み500円 全講座申込み1,000円

- 託 児:なし
- 申込方法:氏名、住所、電話番号(携帯)、メールアドレス、職場名、希望講座を明記の上、電話、FAX、メールにて申込
- 主 催:(特活)子育て応援団ひよこ
- 連 絡 先:〒981-1244 名取市那智が丘2-1-2
(那智が丘児童センター)
TEL:022-381-2051 FAX:022-381-2051
E-mail:info@natori-hiyoko.com
URL:http://natori-hiyoko.com

9/11 火 インターネットで使うNPOのための会計システム「N-Books」実践講座

N-Booksとは、インターネットを利用したNPO向け会計システムで、新しいNPO法人会計基準にも準拠しています。この講座では、N-Booksについて実際に操作をしながら学びます。

- 日 時:9月11日(火) 13:00~18:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第1会議室
- 講 師:瀧谷和隆氏((特活)会計税務専門家ネットワーク理事・事務局長、税理士)
- 対 象:NPOの会計業務に携わる方で、パソコンの基本操作のできる方
- 定 員:10名(申込先着順)
- 参 加 費:3,000円 ※パソコンは主催者側で準備します
- 申込方法:氏名、団体名、役職、電話番号、FAX番号、メールアドレス、会計担当歴、現在使用している会計ソフトの有無とソフト名、今回のセミナーで学びたいことを明記の上、電話、FAXにて申込
- 主 催:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先:裏表紙をご覧ください

9/11 9/14 9/18 9/21 登米開催 パソコン講座

パソコンを使って、短歌や俳句を新聞に楽しんだり、効率が良い会計報告書作りに挑戦してみませんか?

- 日 時:★川柳・短歌新聞を作ろう
9月11日(火) 10:00~12:00
9月14日(金) 19:00~21:00
- ★会計報告書を作ろう
9月18日(火) 10:00~12:00
9月21日(金) 19:00~21:00

ゆるる会員種別変更のご案内

この度の総会において、認定NPO法人を目指すにあたり定款変更ならびに会員種別を提案し、ご承認を頂きました。これに伴いまして、会費を下記のように変更致します。

変 更 前	変 更 後		
正会員個人・NPO	10,000円	正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円	正会員法人	20,000円
賛助会員個人・NPO	5,000円	賛助会員個人	3,000円
賛助会員法人	30,000円	賛助会員NPO	5,000円
情報会員	3,000円	賛助会員企業・団体	20,000円

※情報会員の皆さまは平成24年8月1日より「賛助会員」となります。

情報会員と賛助会員の統一により、大変恐縮ですが一部の皆さまへは会費の変更をお願いすることとなります。なお、この度の変更に併せ、会員を退会された方でも毎月刊ゆるるの送付を希望される方には、『送付負担金¥3,150円(税込)/年』のご負担で、ご指定の住所まで月刊ゆるるをお届けさせていただきます。どうぞ、私どもの活動にご理解いただき、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

郵便振替口座 口座番号 **02250-0-43800**
 加入者名 **特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる**
 (会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

ありがとうございます!! 今月の新入会員・継続会員 (2012.8.16現在)敬称略

- 正会員 48名
★仙台市 ●(財)愛知揆一福祉振興会 ●NPO法人ほっとあい
●NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター ●高浦康有
- 賛助会員 100名
★仙台市 ●板橋俊二 ★石巻市 ●石巻地域総合生活支援センター

◆ <ろうきん> は「助け合い」の金融機関。働く人の暮らしと福祉、社会の充実に取り組みます◆

宮城県との提携による低利な融資制度!!

宮城県勤労者 融資制度

をご活用ください!!

通勤用マイカー資金、
リフォーム資金等
はたらくみなさんをバックアップ

■ 宮城県生活資金 ■

ご利用いただける方

- ①住所が勤務先が宮城県内にある中小企業にお勤めの方
- ②原則満20歳以上で、勤続1年以上、前年税込み年収150万円以上の方
- ③当金庫の審査基準を満たされる方



お使いみち

- ①通勤用マイカー購入資金
- ②住所移転費用
- ③結婚・出産・療養・葬祭に要する費用
- ④納税に要する費用
- ⑤住宅修理・付帯設備設置、災害復旧の費用
- ⑥介護機器等の購入費用
- ⑦上記①～⑥をこの制度に借り換える費用
(日常生活費及び上記用途以外の借り換え費用にはご利用できません。)

ご融資金額

最高200万円 最長5年 (条件により1年以内の
元金据置期間含む)

ご融資期間

ご融資金利

年2.50% (固定金利)

担保・保証人

当金庫指定の保証機関をご利用いただきますので原則不要です。
保証料は別途必要になりますが、保証料が補給される制度もあります。

2012年8月1日現在



お問合せ・お申し込みは <東北ろうきん> 宮城県内の最寄りの店舗へ

☎ 0120-1919-62

Web約款で日本の自然を守ろう!
SAVE JAPAN プロジェクト

ゼニタナゴと出会い、 自然の恵みを味わおう!



大崎市の天然記念物シナイモツゴをご存じですか?

宮城県の地名を冠する唯一の魚ですが、一時は絶滅したと思われていました。1993年に再発見し、地域住民あげて保護と復元に取り組んでいます。シナイモツゴの住む「ため池」の水を利用して、育てられた「シナイモツゴ郷の米」。手刈りやコンバインの試乗、はざ掛けなど、稲刈り作業を体験します。後は、ゼニタナゴの繁殖池で、産み付けられた卵をじっくり観察しましょう。

■開催場所: 大崎市鹿島台(仙台市からバスで移動します)

■内 容: 大崎市鹿島台広長地区の水田でシナイモツゴ郷の米稲刈り体験
鹿島台学童農園に移動し、昼食とシナイモツゴ郷の米やゼニタナゴについての学習

■参加対象: 仙台圏の小学生と保護者(親子での参加)

※鎌を使用しますので小学生未満のお子さまの参加はご遠慮ください。

■参加費: 無料(昼食付)

■定 員: 30名(先着順)

■集合場所: 仙台駅西口

■申込方法: 代表申込者名、代表者連絡先(TEL、FAX、E-mail)、
全参加者名(名前、年齢、性別)、居住地、学年を
電話、FAX、メールにてご連絡ください。

■申込締切: 9月14日(金)

■共 催: NPO法人シナイモツゴ郷の会
NPO法人杜の伝言板ゆるる
認定NPO法人日本NPOセンター

■協 賛: 株式会社損害保険ジャパン

■後 援: 仙台市教育委員会(申請中)

●申込み・お問合せ: NPO法人杜の伝言板ゆるる(下記連絡先をご覧ください)